

平成20年2月中間期 決算説明資料

平成20年4月18日

株式会社 大庄



DAISYO CORPORATION

～「日本の台所」になる～



やるき茶屋

担当部: 経営企画室
電話 : 03-5764-2229
FAX : 03-5764-2237

20/2月中間期決算の概要

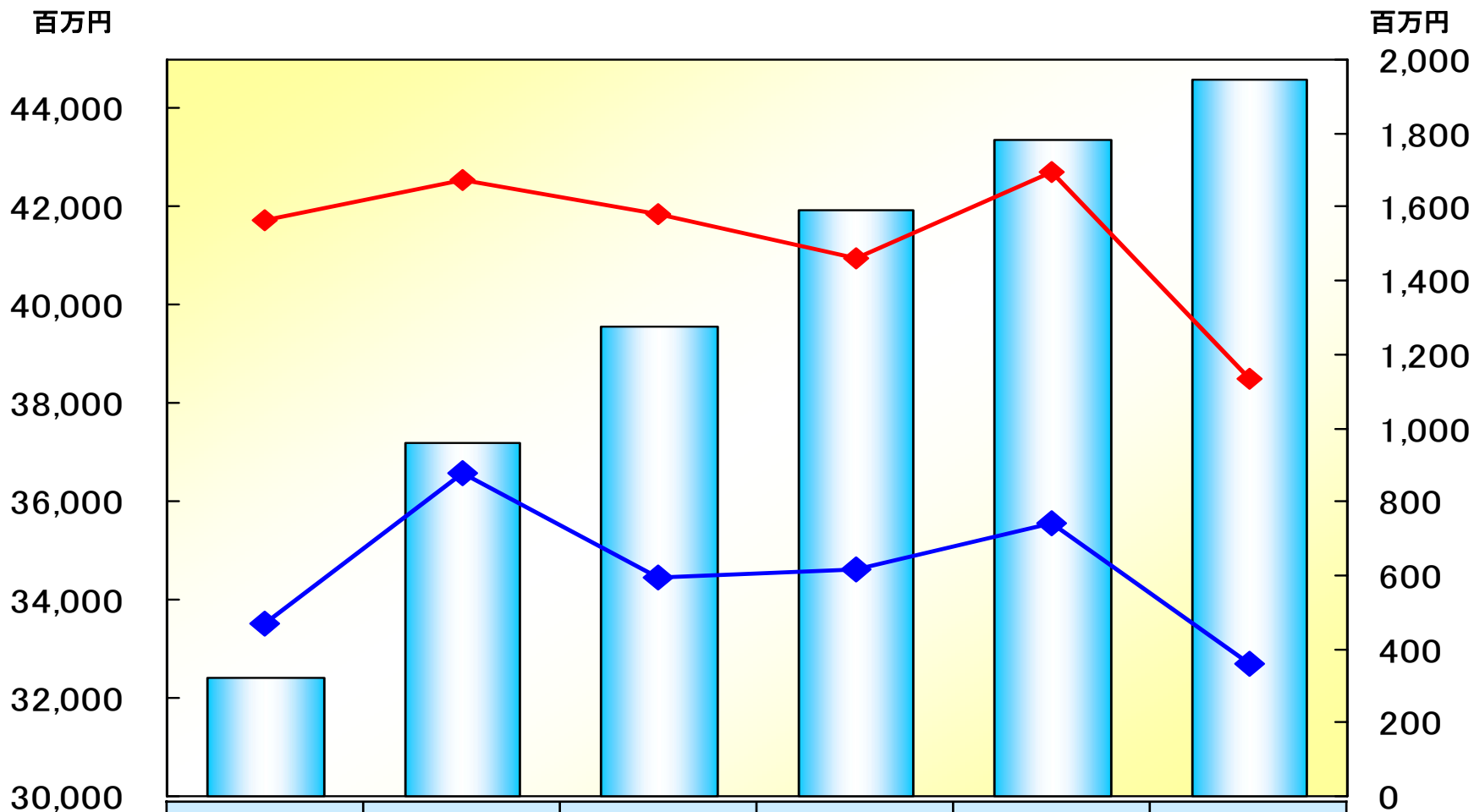
DAISYO CORP.

【単位：百万円】

連 結		19/2中間期	構成比	20/2中間期	構成比	前年同期比	増減率
	売上高	43,377	—	44,610	—	1,232	2.8%
	営業利益	1,697	3.9%	1,131	2.5%	▲566	▲33.3%
	経常利益	1,765	4.1%	1,120	2.5%	▲645	▲36.5%
	当期純利益	739	1.7%	358	0.8%	▲380	▲51.5%

単 体		19/2中間期	構成比	20/2中間期	構成比	前年同期比	増減率
	売上高	36,994	—	37,283	—	289	0.8%
	営業利益	1,437	3.9%	820	2.2%	▲617	▲42.9%
	経常利益	1,524	4.1%	870	2.3%	▲653	▲42.9%
	当期純利益	624	1.7%	263	0.7%	▲361	▲57.8%

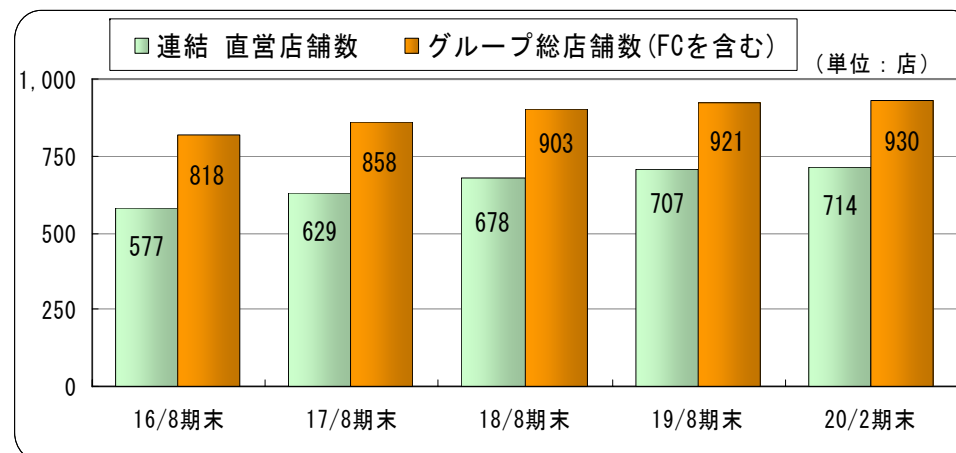
(連結)2月中間期売上高・営業利益・当期純利益の推移



	15/2中間期	16/2中間期	17/2中間期	18/2中間期	19/2中間期	20/2中間期
売上高	32,392	37,181	39,556	41,943	43,377	44,610
営業利益	1,564	1,675	1,578	1,462	1,697	1,131
当期利益	468	887	596	614	739	358

1. 新規出店・改装店実績

	連結	単体	子会社
新規出店	15	13	2
店舗改装	17	14	3
閉店	8	7	1



業態別明細

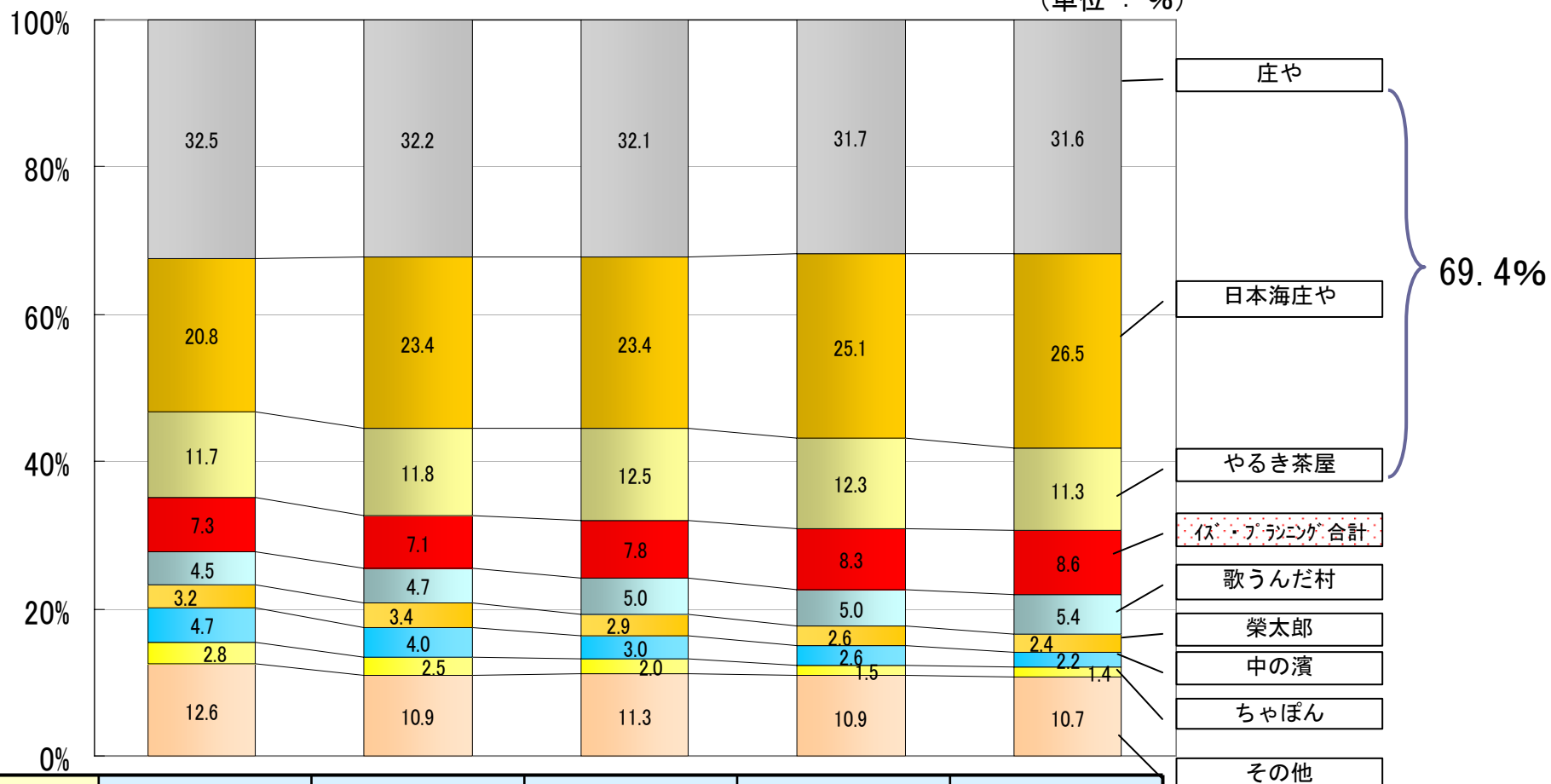
	19/8期末	新規出店	FCより譲受	改装	業態変更		閉店	FCへ譲渡	増減	20/2中間期
庄や	227	8		5	3		▲3		8	235
日本海庄や	130	1			1				2	132
やるき茶屋	86	2		2			▲1	▲1	0	86
うたうんだ村	74	1							1	75
榮太郎	19								0	19
中の濱	17					▲1			▲1	16
その他	95	1			3	▲6	▲2		▲4	91
大庄合計	648	13		7	7	▲7	▲6	▲1	6	654
築地日本海	24					▲1			▲1	23
949	13					▲2			▲2	11
塩梅	12									12
その他	10	2			3		▲1		4	14
イズ・プランニング合計	59	2			3	▲3	▲1		1	60
連結合計	707	15		7	10	▲10	▲7	▲1	7	714

2. 売上高

(1) 業態別・店舗売上高構成の推移（連結）

【構成比】

(単位：%)



店舗売上高 (百万円)	16/2中間期	17/2中間期	18/2中間期	19/2中間期	20/2中間期
	32,124	34,024	36,386	38,068	38,508

▶ 主要3業態で店舗売上高の約7割を占める

2. 売上高

(2) 既存店売上高（対前年比）

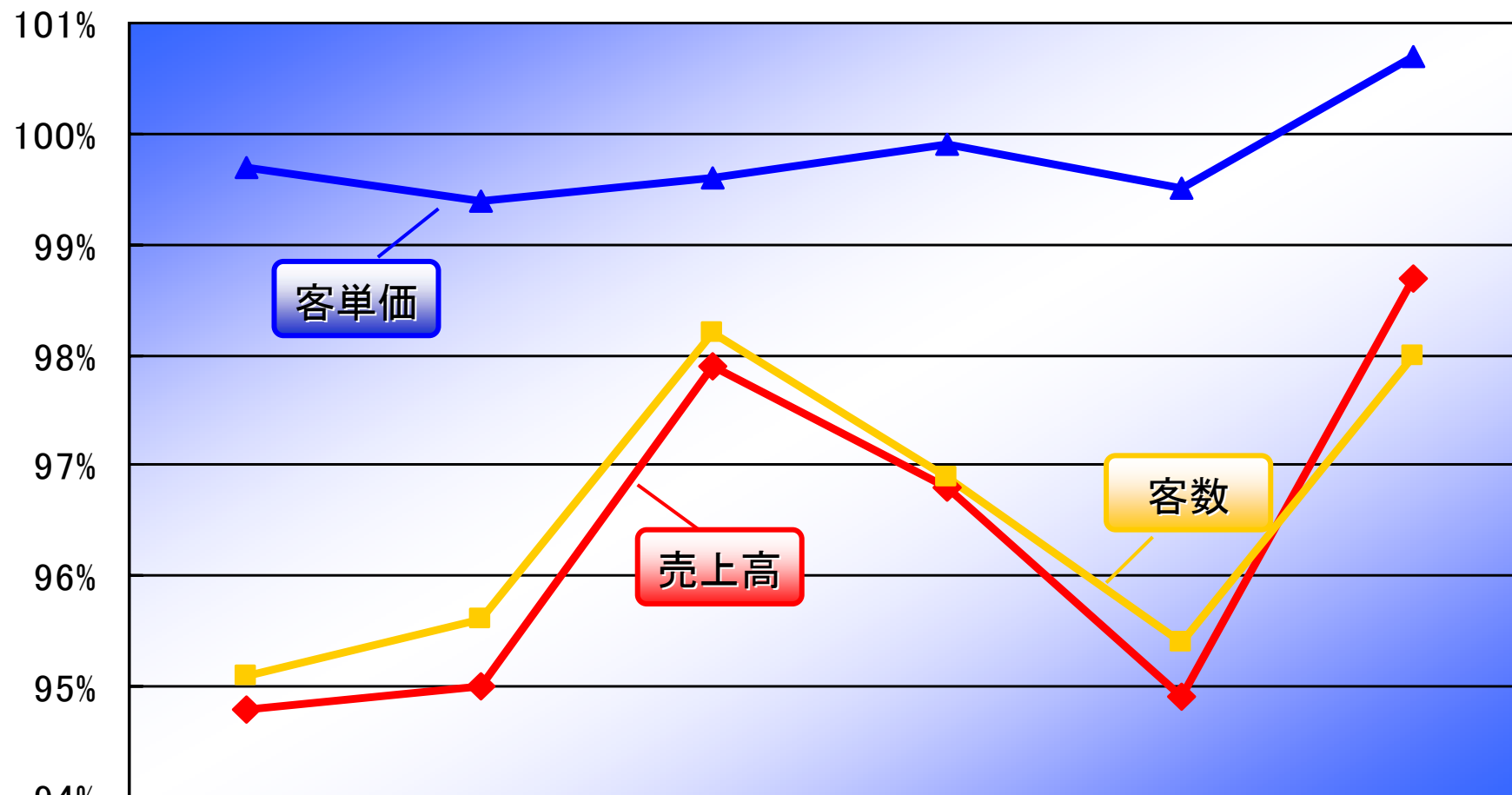
	連 結	単 体	子会社 (イズ・プランニング)
売 上 高	96.3%	96.1%	98.8%
客 数	96.5%	96.3%	99.5%
客 単 価	99.8%	99.8%	99.3%

◆主力業態の実績

	庄 や	日本海庄や	やるき茶屋
売 上 高	96.1%	96.7%	95.2%
客 数	94.6%	98.9%	95.1%
客 単 価	101.5%	97.8%	100.1%

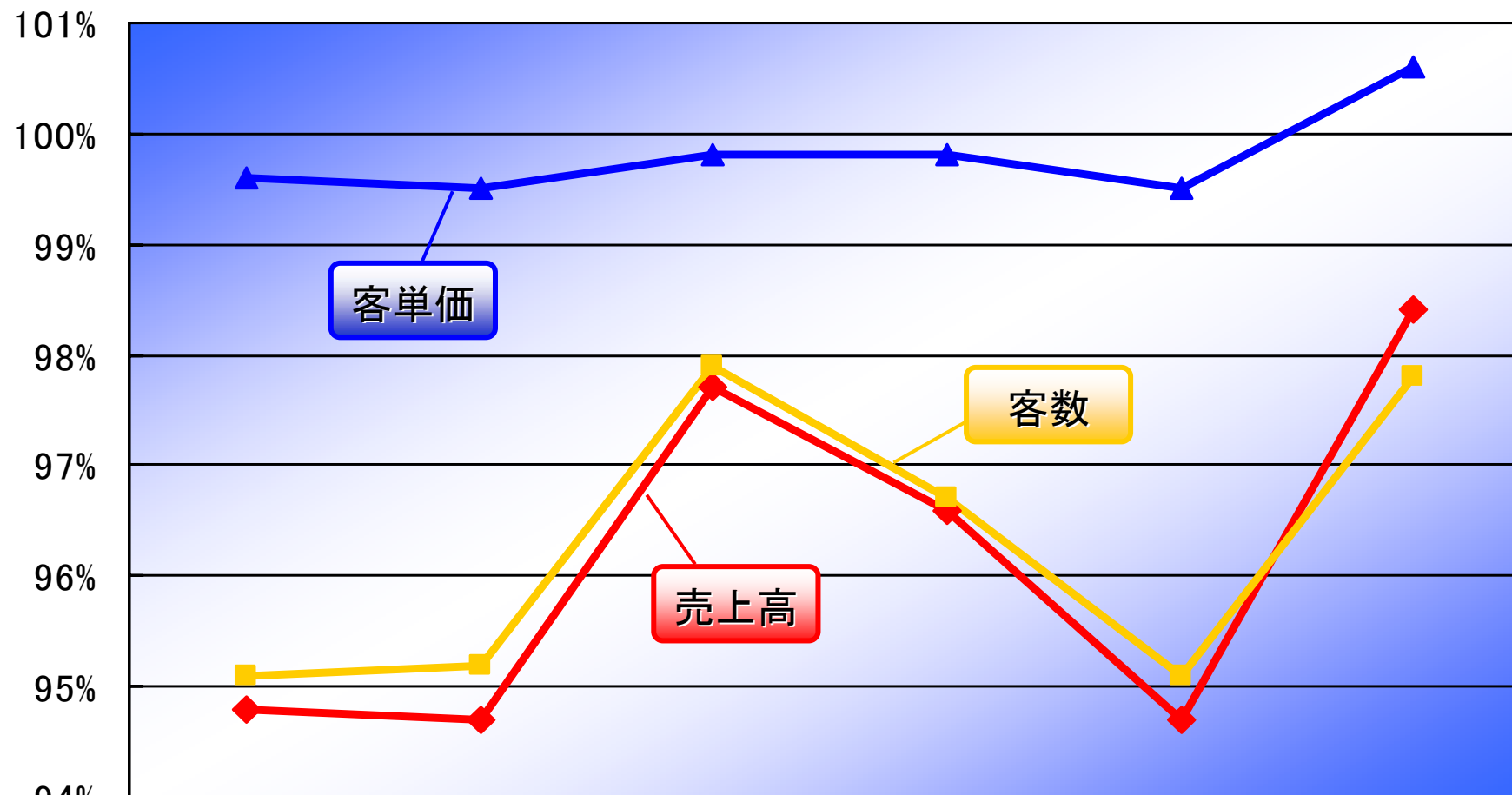
- 前年比▲3.7%で当初計画（▲3.0%）をややや下回った
→競争激化や個人消費低迷等の影響
- 特に9月～10月、1月が不振であった
- 1月中旬以降の株価急落や中国産食材事件も消費マインドに影響
- 1月～2月は厳冬、降雪といった天候不順の影響

(3) 既存店売上高・客数・客単価の対前年比月別推移 (連結ベース)



	9月	10月	11月	12月	1月	2月
◆ 売上	94.8%	95.0%	97.9%	96.8%	94.9%	98.7%
■ 客数	95.1%	95.6%	98.2%	96.9%	95.4%	98.0%
▲ 客単価	99.7%	99.4%	99.6%	99.9%	99.5%	100.7%

(4) 既存店売上高・客数・客単価の対前年比月別推移 (単体ベース)



	9月	10月	11月	12月	1月	2月
◆ 売上	94.8%	94.7%	97.7%	96.6%	94.7%	98.4%
■ 客数	95.1%	95.2%	97.9%	96.7%	95.1%	97.8%
▲ 客単価	99.6%	99.5%	99.8%	99.8%	99.5%	100.6%

3. 営業利益

DAISYO CORP.

(1) 連結

【単位：百万円】

	19/2中間期	構成比	20/2中間期	構成比	増減額	比率差	備考
売上高	43,377	—	44,610	—	1,232	—	既存店売上96.3%、新規出店15店舗
売上原価	15,366	35.4%	16,321	36.6%	955	+1.2%	
売上総利益	28,011	64.6%	28,288	63.4%	276	▲1.2%	
販売費及び一般管理費	26,313	60.7%	27,156	60.9%	843	+0.2%	
人件費	13,772	31.8%	14,376	32.2%	603	+0.5%	
地代家賃	4,331	10.0%	4,483	10.1%	152	+0.1%	
水道光熱費	2,037	4.7%	2,148	4.8%	111	+0.1%	
減価償却費	1,772	4.1%	1,847	4.1%	75	+0.1%	
消耗備品費	745	1.7%	769	1.7%	23	+0.0%	
販売促進費	709	1.6%	696	1.6%	▲13	▲0.1%	
広告宣伝費	144	0.3%	133	0.3%	▲10	▲0.0%	
その他	2,800	6.5%	2,700	6.1%	▲100	▲0.4%	
営業利益	1,697	3.9%	1,131	2.5%	▲566	▲1.4%	

3. 営業利益

DAISYO CORP.

(2) 単体

【単位：百万円】

	19/2中間期	構成比	20/2中間期	構成比	増減額	比率差	備考
売上高	36,994	—	37,283	—	289	—	既存店売上96.1%、新規出店13店舗
売上原価	11,642	31.5%	11,914	32.0%	271	+0.5%	食材や原材料価格の高騰などによる影響
売上総利益	25,351	68.5%	25,369	68.0%	17	▲0.5%	
販売費及び一般管理費	23,914	64.6%	24,548	65.8%	634	+1.2%	
人件費	12,060	32.6%	12,491	33.5%	430	+0.9%	
地代家賃	4,082	11.0%	4,217	11.3%	134	+0.3%	
水道光熱費	1,894	5.1%	1,980	5.3%	85	+0.2%	
減価償却費	1,638	4.4%	1,696	4.6%	57	+0.1%	
消耗備品費	719	1.9%	743	2.0%	24	+0.0%	
販売促進費	649	1.8%	644	1.7%	▲4	▲0.0%	
広告宣伝費	107	0.3%	93	0.3%	▲14	▲0.0%	
その他	2,761	7.5%	2,682	7.2%	▲79	▲0.3%	
営業利益	1,437	3.9%	820	2.2%	▲617	▲1.7%	

4. 経常利益・特別損失・当期純利益

DAISYO CORP.

(1) 連結

【単位：百万円】

	19/2中間期	構成比	20/2中間期	構成比	増減額	比率差	備考
売上高	43,377	—	44,610	—	1,232	—	
営業利益	1,697	3.9%	1,131	2.5%	▲566	▲1.4%	
営業外収益	169	0.4%	122	0.3%	▲47	▲0.1%	
専売料収入	133	0.3%	80	0.2%	▲52	▲0.1%	
その他	36	0.1%	41	0.1%	4	+0.0%	
営業外費用	102	0.2%	133	0.3%	31	+0.1%	
支払利息	76	0.2%	91	0.2%	15	+0.0%	
社債発行費	—	—	17	0.0%	17	+0.0%	
その他	25	0.1%	24	0.1%	▲1	▲0.0%	
経常利益	1,765	4.1%	1,120	2.5%	▲645	▲1.6%	
特別利益	3	0.0%	163	0.4%	159	+0.4%	再開発による店舗立退き補償金収入（3店舗）
特別損失	299	0.7%	417	0.9%	117	+0.2%	
固定資産除却損	198	0.5%	239	0.5%	41	+0.1%	改装、閉店等に伴う除却、解体費用など
店舗関係整理損	5	0.0%	23	0.1%	18	+0.0%	閉店等に伴う解体手数料、復帰費用など
減損損失	59	0.1%	67	0.2%	7	+0.0%	6店舗対象（前期は2店舗）
その他	36	0.1%	86	0.2%	50	+0.1%	
税引前当期純利益	1,468	3.4%	866	1.9%	▲602	▲1.4%	
法人税等	729	1.7%	507	1.1%	▲221	▲0.5%	
当期純利益	739	1.7%	358	0.8%	▲380	▲0.9%	

4. 経常利益・特別損失・当期純利益

DAISYO CORP.

(2) 単体

【単位：百万円】

	19/2中間期	構成比	20/2中間期	構成比	増減額	比率差	備 考
売上高	36,994	—	37,283	—	289	—	
営業利益	1,437	3.9%	820	2.2%	▲617	▲1.7%	
営業外収益	169	0.5%	151	0.4%	▲18	▲0.1%	
専売料収入	131	0.4%	77	0.2%	▲54	▲0.1%	
その他	38	0.1%	74	0.2%	36	+0.1%	
営業外費用	82	0.2%	101	0.3%	18	+0.0%	
支払利息	57	0.2%	46	0.1%	▲10	▲0.0%	
社債利息	2	0.0%	25	0.1%	23	0.1%	
その他	23	0.1%	28	0.1%	5	0.0%	
経常利益	1,524	4.1%	870	2.3%	▲653	▲1.8%	
特別利益	2	0.0%	157	0.4%	154	+0.4%	再開発による店舗立退き補償金収入（3店舗）
特別損失	279	0.8%	393	1.1%	114	+0.3%	
固定資産除却損	183	0.5%	218	0.6%	35	+0.1%	改装、閉店等に伴う除却、解体費用など
店舗関係整理損	5	0.0%	20	0.1%	14	+0.0%	閉店等に伴う解体手数料、復帰費用など
減損損失	59	0.2%	67	0.2%	7	+0.0%	6店舗対象（前期は2店舗）
その他	31	0.1%	86	0.2%	55	+0.1%	
税引前当期純利益	1,247	3.4%	634	1.7%	▲613	▲1.7%	
法人税等	623	1.7%	370	1.0%	▲252	▲0.7%	
当期純利益	624	1.7%	263	0.7%	▲361	▲1.0%	

5. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	19/8期	20/2中間期	増減額		19/8期	20/2中間期	増減額
現預金	6,544	6,113	▲430	買掛金	2,853	2,539	▲313
受取手形及び売掛金	1,969	1,912	▲57	未払金	2,707	2,345	▲362
棚卸資産	801	785	▲15	借入金(長短)	10,486	9,398	▲1,087
その他	1,432	1,325	▲106	社債	3,410	4,500	1,090
流動資産	10,748	10,137	▲610	その他	4,310	3,506	▲804
有形固定資産	28,793	28,198	▲594	負債合計	23,767	22,289	▲1,477
無形固定資産	1,070	1,073	2	資本金	8,626	8,626	—
敷金・保証金	14,439	14,334	▲105	資本剰余金	9,908	9,908	—
その他	1,122	1,096	▲25	利益剰余金	14,376	14,503	127
固定資産	45,425	44,703	▲722	その他	▲504	▲487	16
資産合計	56,174	54,840	▲1,333	純資産合計	32,406	32,550	144
				負債・資本合計	56,174	54,840	▲1,333

	19/8期	20/2中間期	増減額(率)
有利子負債	13,896	13,898	2
現預金	6,544	6,113	▲430
NET有利子負債	7,351	7,784	432
自己資本比率	57.5%	59.1%	+1.6%
有利子負債依存度	24.7%	25.3%	+0.6%

6. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	19/2中間期	20/2中間期	増減額
1. 営業活動CF	2,711	1,570	▲1,140
税引前利益	1,468	866	▲602
減価償却費	1,755	1,838	82
法人税等	▲632	▲915	▲283
その他営業CF	119	▲218	▲337
2. 投資活動CF	▲1,683	▲1,461	222
有形固定資産の取得	▲1,558	▲1,480	78
敷金・保証金の差入支出	▲241	▲148	93
その他投資CF	116	167	50
3. 財務活動CF	▲574	▲535	38
短期借入金の純増減額	▲383	▲645	▲262
長期借入金の純増減額	30	▲747	▲777
社債の純増減額	▲10	1,090	1,100
(有利子負債の増減額)	▲362	▲302	59
その他財務CF	▲212	▲233	▲21

7. 関係会社の状況

➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	20/2中間期売上高	議決権の所有割合	備考
(株)イズ・プランニング	料理飲食業	東京都大田区	300	3,335	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿司割烹「築地日本海」無国籍料理「949」和風創作料理「塩梅」を柱に店舗展開 ・ 「佐吉」など新業態開発を積極化
米川水産(株)	生鮮魚介類等の卸売業	東京都中央区	90	3,314	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築地市場での営業権を保有 ・ マグロなどの魚価高騰への対策強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都品川区	99	1,723	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ店舗への食材等を毎日一括配送 ・ 外部取引先への配送業務を強化
(株)アサヒビジネスプロデュース	不動産賃貸管理 煙草・飲料販売	東京都港区	60	430	75.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規にグループ店舗への「害虫駆除」事業を開始
(株)アルス	病院・事業用給食施設の運営	東京都品川区	80	1,280	63.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収益安定化を第一に事業展開 ・ 病院食事業としてのビジネスモデル確立をめざす
新潟県佐渡海洋深層水(株)	飲料水等の製造・販売	新潟県佐渡市	96	152	69.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成19年9月28日に第三者割当増資を引き受け

※新潟県佐渡海洋深層水(株)は、3月期決算のため19/4月～20/2月累計の数値となっております

➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	20/2中間期売上高	議決権の所有割合	備考
(株)エム・アイ・プランニング	酒・飲料等の配送業	東京都葛飾区	10	1,220	20.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社並びにFC店舗に酒・飲料等を配送



20 / 下期 通期見通の概要

20/8月期 通期見通

DAISYO CORP.

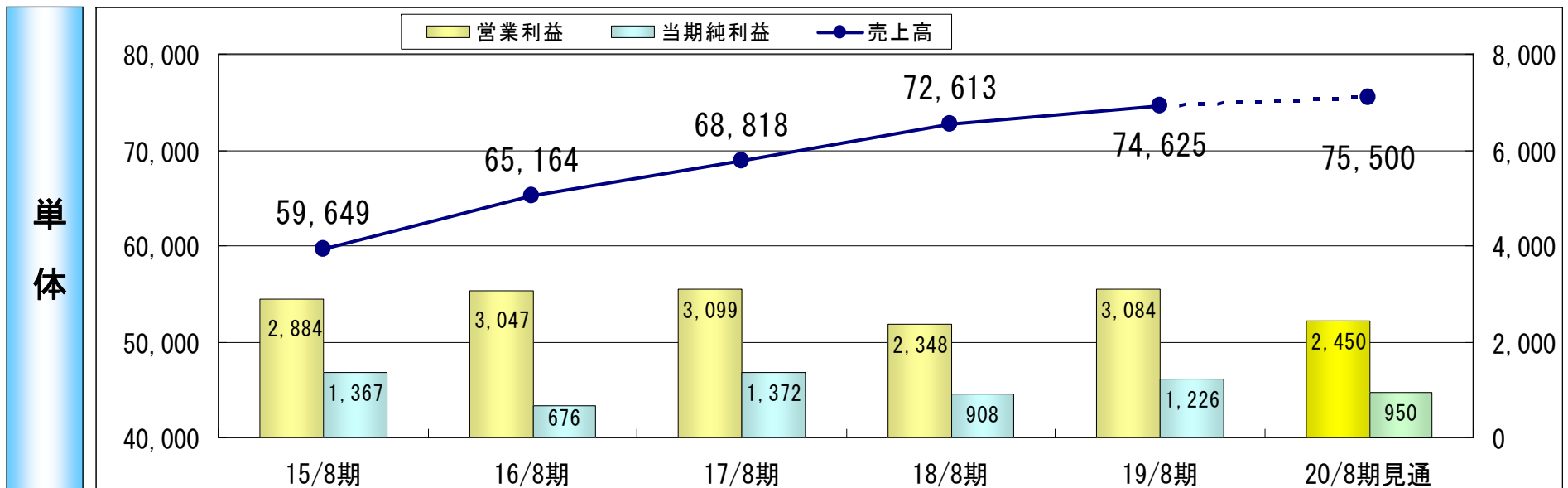
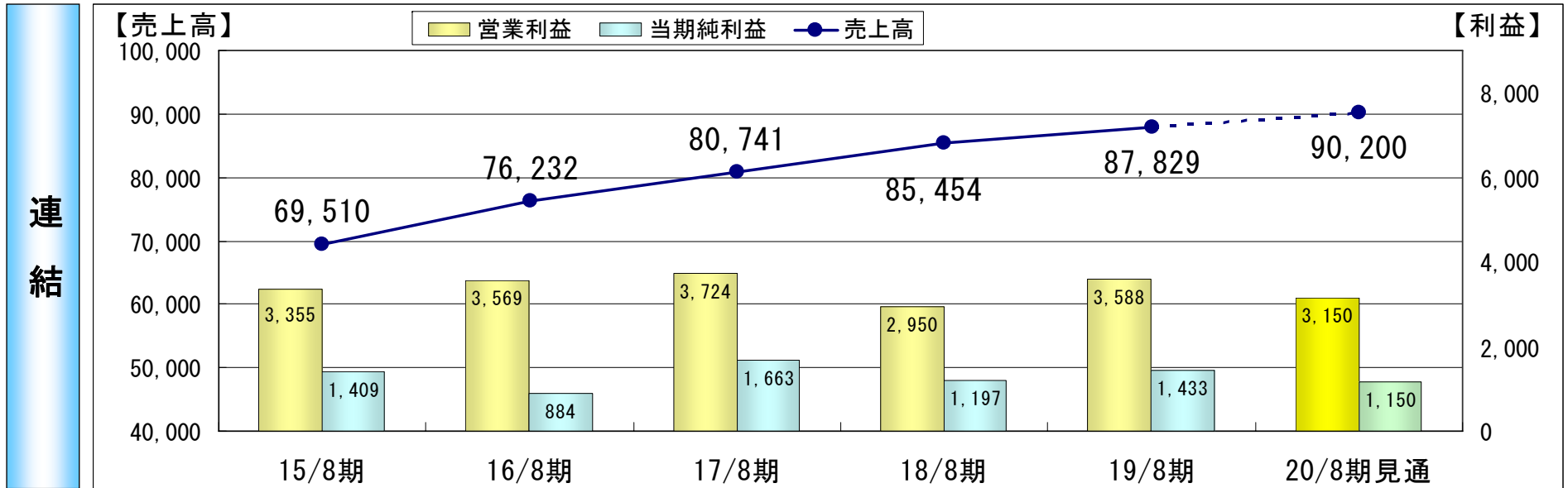
(単位：百万円)

連 結		20/2中間期 実績	構成比	20/下期 計画	構成比	20/8期見通	構成比	19/8期	構成比	前年比	増減率
	売上高	44,610	—	45,590	—	90,200	—	87,829	—	2,371	2.7%
	営業利益	1,131	2.5%	2,019	4.4%	3,150	3.5%	3,588	4.1%	▲438	▲12.2%
	経常利益	1,120	2.5%	2,030	4.5%	3,150	3.5%	3,627	4.1%	▲477	▲13.2%
	当期純利益	358	0.8%	792	1.7%	1,150	1.3%	1,433	1.6%	▲283	▲19.7%

単 体		20/2中間期 実績	構成比	20/下期 計画	構成比	20/8期見通	構成比	19/8期	構成比	前年比	増減率
	売上高	37,283	—	38,217	—	75,500	—	74,625	—	875	1.2%
	営業利益	820	2.2%	1,630	4.3%	2,450	3.2%	3,084	4.1%	▲634	▲20.6%
	経常利益	870	2.3%	1,680	4.4%	2,550	3.4%	3,153	4.2%	▲603	▲19.1%
	当期純利益	263	0.7%	687	1.8%	950	1.3%	1,226	1.6%	▲276	▲22.5%

業績の推移 通期見通

(単位:百万円)



1. 新規出店計画

	20/2中間期 実績	20/下期 計画	20/8期 通期見通
連 結	15 店舗	20 店舗	35 店舗
単 体	13 店舗	17 店舗	30 店舗
子 会 社 (イブ・プランニング)	2 店舗	3 店舗	5 店舗

店舗展開戦略

- ▶ 候補物件の立地条件や収益予想を慎重に吟味した上で出店
- ▶ 人材の確保及び店長・調理長の早期育成が前提条件
- ▶ 柱3業態を中心に店舗設計は絶えざる革新を図る

2. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
連結	930店舗	42/47県

(平成20年2月末現在)

拠点出店 → 地区ドミナント出店

北海道	0
-----	---

0店舗

1~10店舗

10~30店舗

31~100店舗

101~店舗

出店予定

東北・北海道地方
27店舗
6県/7県

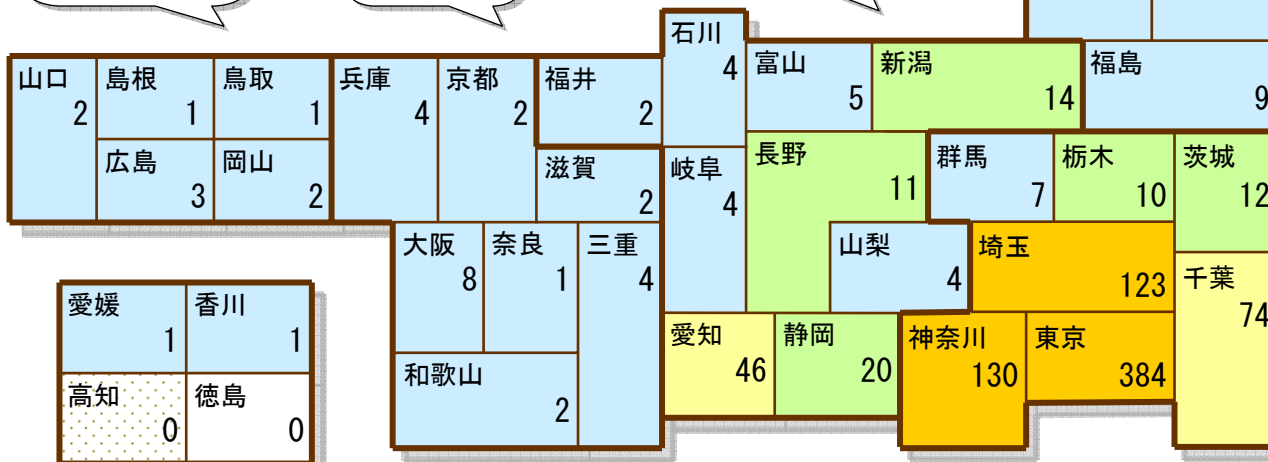
青森	5		
秋田	1	岩手	5
山形	2	宮城	5

中部地方
110店舗
9県/9県

中国・四国地方
11店舗
7県/9県

近畿地方
23店舗
7県/7県

九州・沖縄地方
19店舗
6県/8県



関東地方
740店舗
7県/7県

➤20/8期初出店計画 … 高知

3. 既存店計画

(1) 既存店売上計画 (対前年比)

20/2中間期 実績 → 96.3%

20/下期 計画 → 97.0% (▲3.0%)

➤引き続き厳しい環境を見込む
→「既存店売上の増加策」が
最重要課題

(2) 改装店舗計画

	連 結	単 体	子会社 (イズ・プランニング)
改 装 店 舗	35 店舗	30 店舗	5 店舗

➤ 立地環境やお客様ニーズの変化に
合わせて業態転換を積極的に推進

4. 特別損失

➤ 店舗改装、統廃合に伴う固定資産除却損等

(単位：百万円)

	連結		単体		子会社	
	19/8期実績	20/8期見通	19/8期実績	20/8期見通	19/8期実績	20/8期見通
特別損失見込	658	692	604	643	53	49



20 / 下期 重点取組み課題

1. 既存店売上の増加策

(1) 営業体制の見直し

- 宴会需要の掘り起こし拡大
→店舗営業活動の強化に加えて、別働の専任推進部隊の構築を検討
- マーケット・採算性を睨んだ「ランチ営業」の強化
- 店舗オペレーション力の強化による客単価の引上げ

(2) メニュー戦略

- 「グランドメニュー」の絞込み、及び「おすすめメニュー」の拡大
- 「提案型食材イベント」の更なる拡大 →旬、季節、産地をアピール
- 仕入食材値上りへの適切な対応

(3) 店舗業態戦略の見直し

- 高価格業態「ととや市場 結」等の推進と低価格業態の開発検討
- 「客単価」に視点を置いた業態テストマーケティングの取組み

2. 収益改善策(コストコントロール)

(1) 仕入努力による原価の低減

- ▶ 仕入業者の見直し・絞込みとメーカー直接取引の推進
- ▶ 商品(食材)アイテムの絞込みによる効率化と1アイテム量の拡大による仕入価格低減
- ▶ 容器改良や各種工夫による消耗備品も含めたコストダウン
- ▶ 更なる産直ルートの拡大

(2) メニュー価格の見直し

- ▶ 食材、酒、飲料の仕入価格上昇への適切な対応
- ▶ 業態コンセプトに基づいた価格戦略の見直し

2. 収益改善策(コストコントロール)

(3) 販売費及び一般管理費

- 人件費 → 営業時間見直しによる削減、オペレーション効率化によるコストダウン
- 衛生費、消耗備品費他 → 仕入れ業者や取引内容見直しによるコストダウン
- 水道光熱費 → 契約形態の見直しと無駄の排除
- 販売促進費 → 「費用対効果」を十分に踏まえたイベント企画の実施

3. 不振店対策の強化

(1) 店舗オペレーション力の強化

- ▶ 時間帯別損益管理データを踏まえた最適運営の推進と収益改善
 - 店舗状況に合わせた営業時間の見直し
 - ワークスケジュールの徹底管理と従業員総労働時間の削減
- ▶ 収益低迷店を中心とする指導チームによる集中改善指導
- ▶ 店舗セールス力の強化
 - もう1品、おすすめセールス等

(2) 抜本的な対応策の実施

- ▶ 老朽店舗はリニューアル、ニーズが変化した店舗は業態転換を積極推進
- ▶ 構造的要因により収益改善が期待できない店舗は閉鎖

4. 経営基盤の強化

- (1) 衛生管理体制の更なる強化
- (2) 内部統制システムの早期構築
- (3) コンプライアンス厳守体制の確立
- (4) リスク管理体制の確立
- (5) 健全な財務基盤の維持